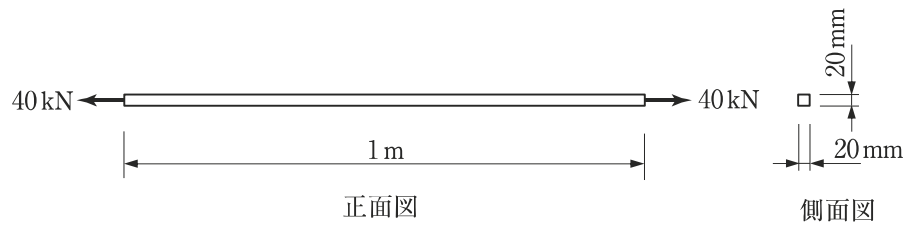


【職務経験者 土木 専門】 例題 1

図のような長さが1 m，断面が20 mm×20 mmの正方形の鋼材を軸方向に40 kNで引っ張ると，1 mm伸びた。フックの法則が成り立つとき，この鋼材の弾性係数（ヤング係数）はいくらか。



1. $6.0 \times 10^4 \text{ N/mm}^2$
2. $8.0 \times 10^4 \text{ N/mm}^2$
3. $1.0 \times 10^5 \text{ N/mm}^2$
4. $1.2 \times 10^5 \text{ N/mm}^2$
5. $1.4 \times 10^5 \text{ N/mm}^2$

〔正答 3〕

【職務経験者 土木 専門】 例題 2

日本の下水処理において、下水中の有機物を処理する方法として一般的に用いられているのはどれか。

1. 砂層によるろ過処理
2. 粉末活性炭を注入して吸着させる活性炭吸着処理
3. 微生物のはたらきによる生物処理
4. 紫外線を照射する紫外線処理
5. オゾンガスを注入するオゾン処理

〔正答 3〕

【職務経験者 保健師 専門】 例題 1

COPD に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. COPD は慢性気管支炎や気管支喘息、肺気腫の総称で、有害物質を長期に吸入曝露することで生じた肺の炎症性疾患である。
2. COPD の特徴的な症状は、歩行時や階段昇降時に息切れを感じる労作時呼吸困難や慢性の咳や痰である。
3. 肺胞が破壊されて、肺気腫という状態になると、肺が膨らもうとする力が減少して、息を吐くのは容易だが息を吸うことが困難になり、酸素の取り込み機能が低下する。
4. 肺機能検査（スパイロメトリー）で、「1 秒率」が 50 % あれば、COPD の可能性は低い。
5. 喫煙者における COPD の発症率はおおよそ 50 % である。COPD 患者が禁煙すると、「1 秒量」が改善する。

〔正答 2〕

【職務経験者 保健師 専門】 例題2

人口動態の指標に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 出生率（粗出生率）は、1年間の出生数をその年の10月1日の総人口で割ったもので、人口10万対で表されるのが一般的である。
2. 合計特殊出生率は、15～49歳の女性の年齢別出生率の総和で、1人の女性が一生の間に生む子どもの数を表す指標として用いられる。
3. 総再生産率は、1人の女性が、出産時の年齢にかかわらず一生の間に生む子どもの数で、合計特殊出生率よりも大きな値となる。
4. 純再生産率は、人口が翌年に増加するか減少するかが分かる指標である。純再生産率が、ある年に1未満になると、その翌年に人口が減少する。
5. 新生児死亡率は、1年間の出生数に対する、生後1週未満の死亡数の割合であり、乳児死亡率よりも小さな値となる。

〔正答 2〕

【職務経験者 保健師 専門】 例題3

国民健康づくり対策に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 2000年に定められた健康日本21は、我が国における初めての国民健康づくり対策である。
2. 健康日本21（第二次）は、健康増進に関連するデータの見える化・活用やPDCAサイクルの推進が十分に行われたと評価されている。
3. 健康日本21（第二次）の最終評価において、「メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少」の項目は、「現時点で目標値に達していないが、改善傾向にある」とされている。
4. 健康日本21（第三次）の計画期間は、各種取組の健康増進への効果を短期間で測ることは難しく、評価を行うには一定の期間を要すること等を踏まえ、2024年度から2033年度までの10年間とされている。
5. 健康日本21（第三次）は、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」をビジョンとし、多様化する社会において、集団に加え個人の特性をより重視しつつ最適な支援・アプローチを実施するとしている。

〔正答 5〕

【職務経験者 心理 専門】 例題 1

トールマン (Tolman, E.C.) とホンジック (Honzik, C.H.) による潜在学習の実験に関する記述として妥当なのはどれか。

1. ネズミに迷路を報酬なしで探索させると、当初は報酬ありの統制群に比べて遂行成績は伸びなかったが、報酬を導入した途端に遂行が急激に改善した。
2. 踏み板を踏むかひもに触れるかするとドアが開く仕組みの箱にネコを入れると、初めのうちは偶然に脱出するが、徐々に効率よくドアを開いて脱出できるようになった。
3. 回避不可能な状況で電気ショックを与え続けられたイヌが、回避可能な状況において、自ら電気ショックから逃れようとせずうずくまったままであった。
4. アカゲザルに対し同じタイプの弁別学習を行う課題を複数連続して取り組ませると、最初はチャンス・レベルであった正答率が漸進的に上昇し、最終段階ではほぼ完全正解に達した。
5. チンパンジーが箱や棒がばらばらに置かれた^{おり}檻の中で、箱を押すなどの行動レパートリーを組み合わせることによって、天井につるされたバナナを試行錯誤によらず取ることができた。

[正答 1]

【職務経験者 心理 専門】 例題 2

アッシュ (Asch, S.E.) は、架空の人物の特徴をいくつかの特性語によって提示し、そこから印象を形成させるという手続による一連の実験を行った。この実験に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 初めの方に提示された特性語が最終的に形成される印象に大きな影響を及ぼすという新近効果を見いだした。
- イ. 個々の情報に基づく印象が寄せ集まって全体的印象ができるのではないことを示した。
- ウ. 同じ特性を組み合わせて人物を記述する場合、その提示順序を変化させても同じような印象が形成されることを明らかにした。
- エ. 同じ特性語であっても、他に提示される特性語が異なると、その文脈によって意味が変わることを示した。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

[正答 4]

【職務経験者 心理 専門】 例題3

ベイトソン (Bateson, G.) が唱え、家族療法に影響を与えた「ダブルバインド」の説明として妥当なのはどれか。

1. 両親世代の問題が子供の世代に^{でんぱ}伝播される家族投影過程が、多世代にわたり生じることである。例えば、父親の持っている自分の母親に対する問題が、形を変えて、子供の母親に対する問題となっていることをいう。実際の治療では家系図を用いることもある。
2. 否定的な意味を肯定的な枠組みに変えることである。例えば、「子供の問題に無関心な父親」と不満を持つ母親に対し、「口出しせずに見守ることができている父親」と表現を変えることで情緒的色彩を構築し直し、問題解決の糸口にする。
3. 家族のサブシステム間の境界線である世代間境界が侵害されることである。例えば、いわゆる母子密着は夫婦サブシステムと子供サブシステムの境界が不明瞭になったことによって生じた事態と考えられる。
4. 二者関係で、一方が言語レベルであるメッセージを發しつつ、非言語レベルではそのメッセージと衝突するメッセージを發することである。例えば、手をつなごうとした子供に、母親が身をこわばらせ、子供が手を引っ込めると、「私のこと好きじゃないの？」と母親が尋ねるような状況である。
5. 症状や行動をあえてやってみるように指示することである。指示に従えば症状のコントロールができたことになり、従わなければ症状をあきらめることになるので、いずれにしても症状の克服に結び付くことになる。

〔正答 4〕

【職務経験者 児童福祉 専門】 例題 1

『高齢社会白書（令和 5 年版）』（内閣府編）による 65 歳以上の者の生活環境に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 65 歳以上の者の 6 割以上が賃貸住宅に居住している。
- イ. 養護者による虐待の種別を見ると、身体的虐待が最も多くなっている。
- ウ. 特殊詐欺の被害者の 8 割以上が 65 歳以上の者である。
- エ. 2015 年以降、65 歳以上の者の交通事故死者数は増加傾向にある。

- 1. ア, イ
- 2. ア, ウ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

〔正答 3〕

【職務経験者 児童福祉 専門】 例題2

近年の社会的養護の現状及び制度改正の動向に関する次の記述ア～エのうちには妥当なものが二つある。それらはどれか。

- ア. 里親やファミリーホームに委託された要保護児童の数は増加する傾向にある。
- イ. 社会的養護を必要とする児童においては、全体的に障害等のある児童が増加する傾向にある。
- ウ. 満20歳に達した者については、児童自立生活援助事業の対象から一律に除外されることになった。
- エ. 民間事業者が養子縁組あっせん事業を実施する場合、従来は都道府県知事の許可を受ける必要があったが、法改正によって市町村長への届出のみで事業実施が可能となった。

- 1. ア, イ
- 2. ア, エ
- 3. イ, ウ
- 4. イ, エ
- 5. ウ, エ

〔正答 1〕

【職務経験者 児童福祉 専門】 例題3

リーダーシップの理論に関する次の記述のうち下線部分が妥当なのはどれか。

1. 三隅二不二は、リーダーシップの機能を課題達成機能と集団維持機能の二つに分類し、両者を高水準で達成する型のリーダーシップについて、最も高い集団生産性を生み出すが、メンバーの意欲・満足度は最も低いことを明らかにした。
2. ハーシーとブランチャードは、メンバーの成熟度によってリーダーシップは変化するとし、非常に成熟度の高い段階では、リーダーは介入せずに信頼して任せる委譲的リーダーシップが最も効果的であることを明らかにした。
3. ハウスとデスラーは、メンバーが目標（ゴール）に達するためにはどのような道筋（パス）があるかを示すことが重要と考え、そのために、リーダーはメンバーに対し常に具体的で細かい指示を出すことが重要であることを明らかにした。
4. ブレイクとムートンは、リーダーの行動スタイルを人間に対する関心と業績に対する関心の2次元で捉え、リーダーシップが最高に発揮されるためには、リーダーが業績よりも人間に高い関心を払っている場合であることを明らかにした。
5. フィードラーは、リーダーの特性をLPC得点（最も仕事をしたくない同僚への評価）によって表し、LPC得点が低いリーダーは、いかなる集団状況でもリーダーシップを有効に発揮できることを明らかにした。

〔正答 2〕

【職務経験者 医療社会福祉（精神保健福祉） 専門】例題

高次脳機能障害とはどのような障害か。

<正答>

頭部外傷や脳血管疾患等の脳の器質的病変による「記憶障害」、「注意障害」、「遂行機能障害」、「社会的行動障害」などの認知障害を主たる要因として、日常生活又は社会生活への適応に困難を有する障害である。